



# 統計 **てきめん** 2 Premier

統計てきめん2プレミア

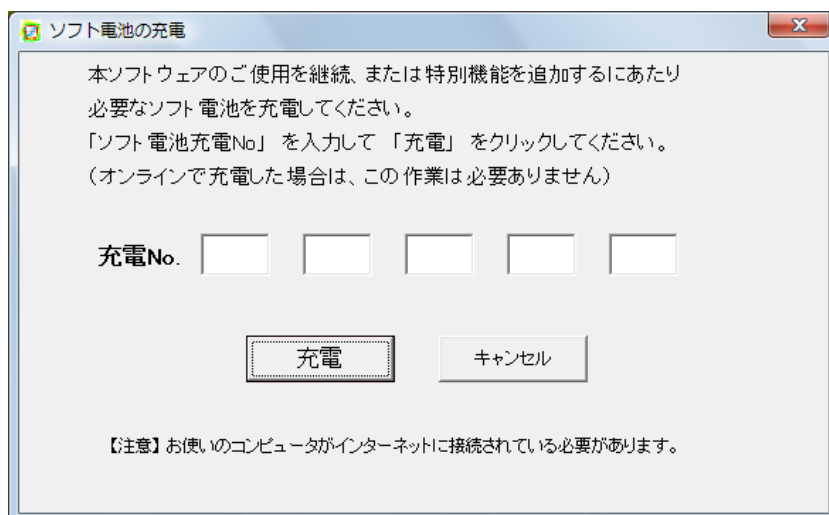
## 拡張機能の操作方法

## 拡張機能マニュアル

2016.2.3版

# 拡張機能用ソフト電池充電 No.の入力

「統計てきめん2プレミアム」を起動し、  
[設定]→[ソフト電池情報]→[充電(充電 No.入力)]を選択します。  
次のような画面が現れますので、同梱されている  
機能拡張用のソフト電池充電 No.を入力し、  
[充電]をクリックしてください。

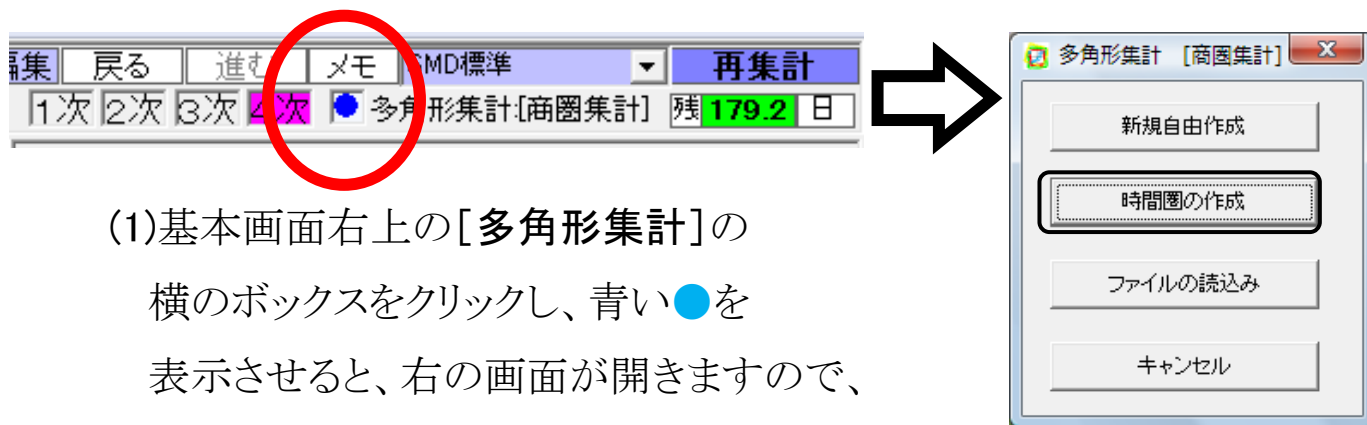


これで、拡張機能をご利用いただくための作業は完了です。

# 拡張機能の操作方法

## ①時間圏作成シミュレーション機能

本機能は、自動車、自転車、徒歩の移動手段で一定時間に到達する範囲を自動的にシミュレーションし、集計する機能です。



(1)基本画面右上の[多角形集計]の横のボックスをクリックし、青い●を表示させると、右の画面が開きますので、[時間圏の作成]をクリックしてください。

(※多角形集計のその他の機能については、使用説明書 54 ページをご覧ください。)

(2)時間圏の作成画面が開きますので、作成条件を設定してください。



## 作成条件

- [移動手段] 自動車・自転車・徒歩の中から選択します。  
自動車については、中域図が基本となります。より広い範囲で作成する場合は、広域図を選択してください。
- [移動時間] プルダウンリストから移動時間を選択し、設定します。  
任意の数値を入力することもできます。
- [移動速度] 移動速度を設定します。移動手段によって、設定できる速度の範囲が変わります。
- [多角形の頂点数] 多角形の頂点数を設定します。  
頂点の数が多いほど、計算に時間がかかります。

(3)[時間圏の作成開始]をクリックしてください。作成が開始されます。

- ※作成条件によって、作成までに長い時間がかかることがあります。
- ※地図ソフトの詳細地図をインストールしていない場合、徒歩圏の作成はできません。
- ※システム上、地点によっては、多角形が描かれない、もしくは、不自然な多角形が描かれる場合があります。

(4)作成中に[実行ログの表示]をクリックすると、画面右側に実行ログを表示します。

作成が終了すると、以下のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。



「時間圏の作成」画面の地図上に、作成された多角形が表示されます。



(5)スライダーを左右に動かすことによって、地図の拡大・縮小ができます。

(6)[グリッド画面に反映]をクリックすると、作成した多角形がグリッド画面上に反映されます。

(7)作成した多角形を保存する場合は、[時間圏(多角形)の保存]をクリックします。

(8)[キャンセル／閉じる]をクリックすると、作成した多角形をグリッド画面に反映させずに時間圏の作成を終了します。

## ②クロス表示分析機能

本機能は、2つの指標を用いて、グリッド画面上の色分布表示をおこなう機能です。

(1)メニューバーから[分析]→[クロス表示分析]を選択すると、「クロス表示分析」画面に切り替わります。

The screenshot shows the '統計てきめん2 プレミアム' software interface. The main window title is '統計てきめん2 プレミアム'. The menu bar includes 'ファイル', '分析', '情報', '集計半径', '集計メッシュ', and 'グリッド表示'. The '分析' menu is open, showing options like '年齢別人口分析', '通勤・通学分析', '経年推移分析', '年収別世帯数分析', '人口予測', and 'クロス表示分析'. The 'クロス表示分析' option is selected. The main area displays a map of a city grid with a color overlay. A legend in the bottom-left corner shows a 2x2 grid with colors and values: A (1593.3), B (3176.7), C (335.3), and D (670.7). The right side of the screen shows a panel for selecting indicators (2), a grid visualization (3), and control buttons (5, 6).

(2)クロス表示させる2つの指標をそれぞれ選択します。

※選択された指標の、グリッド画面内での最大値・最小値・平均値がそれぞれリストの下に表示されます。有効なデータ数とは、グリッド画面内のメッシュのうち、有効なデータを含むもの (NAを含まないもの) の数です。

(3)選択された2つの指標による色分けが表示されます。

色のボックスをクリックすることで、色の設定を変更できます。また、色を分ける境界の値(A~D)は、任意の数値を入力することもできます。

(4)グリッド画面上での色の表現方法と凡例の表示を設定できます。

(5)[再描画]をクリックすると、選択された2つの指標によるクロス表示が、グリッド画面上に描画されます。

(6)[クロス表示終了]をクリックすると、クロス表示分析を終了します。

「統計てきめん2プレミア」

拡張機能マニュアル

2016.2.3版

開発元：LSI [LOCATION STRATEGY INSTITUTE] 立地戦略研究所

販売元：有限会社ソルブ

〒338-0002 埼玉県さいたま市中央区4-17-18-101

E-mail tekimen@sorb.co.jp



【著作権について】

本マニュアルの著作権は、ソルブ社に帰属します。ソルブ社の許可なく、本マニュアルの一部または全部を複製、頒布することを禁じます。